

# まつなみ News

## 「ダヴィンチ」の体験学習

平成28年1月10日、松波総合病院北館3階手術室にて笠松町立笠松中学校2年生男女合わせて10名の生徒が、手術支援ロボット「ダヴィンチ」と腹部の模型を利用して腹腔鏡の模擬手術を体験しました。腹腔鏡の模擬手術では、長い柑子を利用して画鋲に引っかかった輪ゴムを移動させたりしました。

生徒達は、実際にコンソールボックスからダヴィンチを操作しM字型に曲げられた針金に輪ゴムを通す体験を実施しました。生徒の一人は、「柑子の先端が手首のように動かせるので、腹腔鏡の模擬体験より簡単でした。」と語ってくれました。今後も、このような機会の提供を続けていきたいと思います。



## ペッパー君

平成28年1月19日、まつなみ健康増進クリニック人間ドック・検診センターに新しいメンバー「ペッパー」が加わりました。ペッパー君は、オプション・検査内容などを受診者の皆様に提案し、又、待ち時間には年齢当てゲームやペッパー踊りなどの楽しい時間を提供します。今後もペッパー君は、地域住民の健康案内係として活躍していきます。お時間が御座いましたら、是非足をお運びください。



### 調理実習会のお知らせ 糖尿病教室主催

糖尿病教室主催調理実習会を下記の日程にて開催いたします。  
糖尿病の食事について、実際に調理しながら学びませんか?

【日時】平成28年4月17日(日) 午前9時45分受付	【参加費】500円 【持ち物】エプロン、三角巾 筆記用具
【場所】柳津もえぎの里 2階調理室	【テーマ】中華料理でも安心!!ヘルシー&満腹レシピ

\*対象は糖尿病患者様とそのご家族(1名様まで)です。(注)お子様の参加はご遠慮下さい。  
\*参加をご希望の方は、申し込み用紙をご記入の上、参加費と共にクリニック受付までお持ち下さい。  
先着20名になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。  
※どなたでも参加できます。

松波総合病院 糖尿病教室

### 講演会のお知らせ

#### — 第15回濃尾医療連携セミナー —

【日時】平成28年4月23日(土)16:00~18:00

【場所】グランペール岐阜

【演題1】「頸動脈狭窄症と外科治療とステント治療の使い分けとその工夫」

【講師】社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院  
脳神経外科部長 澤田 元史 先生

【演題2】「最大で最強の地域包括ケア病棟」

【講師】医療法人社団和栄仁  
芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄 先生

### 講演会のお知らせ

## 第104回 すこやかネットワーク

【日時】平成28年3月16日(水)

【場所】松波総合病院 南館1階

【テーマ】脾臓の内視鏡について

【講師】松波総合病院 光学診療センター  
センター長 樋口 正美 先生



3  
2016 March  
No.197

# まつなみ

[発行] 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院



## 患者様一人一人の安心のカタチを。

地域住民の皆様に選ばれ愛され続ける病院を目指し、松波総合病院は日々変化しています。

今号では、平成27年春よりさらに体制の充実を図りました。

松波総合病院の看護と総合医療のシステムと体制についてご紹介します。

松波総合  
病院の看護と  
総合医療

### 地域の皆様に愛される病院であるために

平成27年春から、高度急性期および一般急性期医療を提供するICU8床、HCU20床、7:1一般病床294床と回復期医療を提供する地域包括ケア病棟60床、回復期リハビリテーション病棟60床、さらに慢性期医療を提供する障がい者病棟59床の計501床いわゆるスーパーケアミックス体制を完成させ、南館内へ新たに移設した介護老人保健施設の機能とも効率よく連結できるシステムとなりました。これにより、高度な急性期医療には人的資源を含めより多くの医療資源を投入でき、回復期、慢性期医療にもそれにふさわしい医療機能を提供できるようになりました。急性期では、必要に応じ患者様の病状にあった病棟で看護を提供します。治療後に自宅に帰宅できる場合は良いのですが、自宅での準備やリハビリが必要な場合は、退院後の生活や

状況に応じて、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟、障がい者病棟での転棟も提案していきます。それらを統括するのはPFM(入退院センター)で、患者様と共に入院直後から退院後の生活を見据え、看護師だけでなく多くの医療スタッフを含めたチームとして介入させていただきます。患者様にとって、より安心できる療養環境が提供できます。「患者本位の看護」、「寄り添う看護」は当院看護部の基本的使命と考えており、常に相手を思いやる気持ちと、日々知識・技術獲得のための研修を行っています。煩雑になりやすい業務をこなす中で、常に患者様を意識し笑顔で対応することを念頭におき努力します。看護体制としては、PNS(パートナーシップ・ナーシングシステム)で常に2名の看護師で対応し、安全・安心・継続看護を提供していきます。

す。現在看護部は、「YES&GO」というネーミングで、患者様の同意を得てから次の行動に移すことを基本にしています。患者様の思いを尊重させていただくと共に、安全に仕事をするためのものです。確認動作が多く感じられると思いますが、ご協力お願いします。今後も地域住民の皆様に選ばれ愛される病院を目指していきます。



社会医療法人蘇西厚生会  
松波総合病院  
看護本部長 安江 三枝子



## 患者様個人に合わせた病棟を目指して

地域包括ケア病棟とは、入院治療が終了し病状が安定した患者様に対して、退院支援を効率的かつ手厚く行い、在宅や介護施設への復帰に向けた医療支援を行う病棟です。現在一般病棟で入院し、計画(入院診療計画書)通りに治療が終了すると退院となります。入院期間は病状により異なりますが、国の方針では概ね18日以内となっています。しかし、身体症状に対し不安があったり、自宅また施設等での療養生活が困難であった場合、リハビリ・生活指導等により改善や自信に繋がる場合は、患者様・ご家族のために、「地域包括ケア病棟」を用意し、安心して退院していただけるよう支援し、最長60日間入院できます。医療の目的が「治す医療」から「治し支える医療」へと変わってきている中で、非日常的である医療と日常の生活を繋ぎ、病院から暮らしの場へ戻るお手伝いをさせていただきます。私たちは、退院後の生活が充実したものとなるために、患者様の自立を促すことを大切にしています。また、患者様だけでなく患者様を支えるご家族様にも目を向け、病気を抱えながら、その人らしい生活ができるように医師や看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーが患者様やご家族様と協力して、在宅復帰に向けた支援を行います。



地域包括ケア病棟  
まつうら いくえ  
病棟長 松浦 郁恵



▲ 地域包括ケア病棟・入浴機

『地域包括ケア病棟』では、医師や看護師、リハビリスタッフが患者様・御家族様と協力して、患者様の在宅復帰に向けた治療・支援を行わせて頂きます。

### 【病棟看護師の1日スケジュール】

8:00～	食事介助・口腔ケア・内服介助
9:00～	清潔ケア
10:00～	検温 他施設等への患者の情報提供
11:00～	点滴交換、血糖チェック、経管栄養者介助
12:00～	食事介助・口腔ケア・内服介助
13:30～	カンファレンス
14:30～	検温・家族指導(導尿・おむつ交換、吸引等)
15:30～	清潔ケア
17:00～	血糖チェック、経管栄養者介助
18:00～	食事介助・口腔ケア・内服介助



## 病院の顔である外来／クリニックとして

平成27年度は、外来の電子カルテ導入や移転などで患者様には大変ご迷惑をおかけする事が多々ありました。現在無事に運営することが出来ていますが、これも患者様の温かい見守りとご協力あってのことと感謝しております。建物とシステムが整い、それに負けないように「安心・安全を心で繋ぐ外来」を目指し、外来スタッフと共に日々精進し医療・看護を行っています。本年度、外来は各診療科の特徴に合わせて外来の質向上に努めました。特殊な診療科においては、知識・技術を向上し、安全性が高められるようにしています。また、外来スタッフは、「病院の顔」として患者様への対応について接遇を強化し、患者様の一言も助言として捉え、改善していく様に取り組んでいます。また当院に来院される患者様から、やさしく声をかけて頂いたり、元気付けていただいたらしく私たち外来スタッフは、【皆様のことばや優しさに触れること】で、今以上に信頼される外来を目指していきたいと感じることができます。

私自身も外来勤務になり5年が経ちます。外来では入院中に関わることが出来た患者様に引き続き関わらせて頂き外来長になって本当に良かったと幸せを感じています。まだまだ至らない事、努力しなくてはならない事もありますが、これからも患者様との関わりを大切にし、心が繋がっていく様にスタッフと共に、医療の質・看護の質を向上させていきたいと考えています。



松波総合病院・  
健康増進クリニック  
外来長 筋野 恵里

